

姿勢＋筆圧＝スピード！

前回も姿勢について書きましたが、近年、学習するときの姿勢があまりよくないと言われています。また、シャープペンシルの影響もありますが、筆圧が弱くなっています。

小学校低学年の子どもの学力と筆圧の相関関係を調べた研究によると、文字を適正な筆圧で書くことができた児童は、総じて学力が高いことが分かりました。正しい姿勢と適度な筆圧を持ち、指先に神経を集中させることができる子どもは、脳の発達レベルも高いということだそうです。鉛筆を奨励する学校が増えてきている理由がわかります。

ある本には、「筆圧のとても弱い子どもは、大人が利き手と反対の手で書いているようなものです。」と書いてあります。利き手の反対の手で字を書いてみると分かりますが、集中も長続きせず、なかなか頭に入ってきません。

みなさんの筆圧はどうですか？ ノートにきちっとした筆圧で書いていますか？ 漢字や単語を書いて覚えるのが速い人や、計算が得意な人は、きちっとした姿勢で、力強い筆圧で書いている人が多く、そのような人はスピードもあります。

授業中、黒板を書き写したり、書いて練習したりする時間が多くあります。与えられた時間は平等ですが、その取り組み方で差が出てくるのです。そして、その姿勢は、同じ時間で処理できる量を増やすことにつながり、将来どんな仕事をするにせよ、大きな力となるはずです。自分の学習している姿を厳しく見つめ、レベルアップしていきましょう。

家庭でも

- 一、正しい姿勢で座るべし
- 一、適正な筆圧で書くべし
- 一、指先に神経を集中すべし

姿勢と筆圧を意識すべし